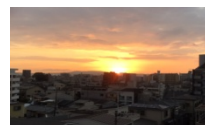


大阪暮らし1ヶ月

慌ただしく、フラフラになり名古屋から引っ越して、もう1ヶ月が過ぎた。UR 賃貸に沈滞ばかりしておれず、早々と動き回っている。大阪暮らし1ヶ月の感想めいたことを綴ってみよう。

自宅は名古屋のときより、すこし広くなり、リビングなどは明るくなった。眩しいくらいだ。ベランダからは、生駒の山並みも見える。朝焼けと夕焼けが美しい。クリスマスの日には、二本の大きな虹も見えた。家探しのとき、こんな美しい景色は期待していなかった。想定外の喜びだ。それと車の騒音に悩まされることもなくなった。



あこがれのカウンターがあるダイニングキッチン。テーブルで食事ができるようになったことも、わが家にとって大きな変化だ。そして買い物も。名古屋星ヶ丘にデパートはあったが、近くにスーパーや商店はなかった。地下鉄で2駅先の本山の生協まで「買い出し」に出かけた。こちらはスーパー・市場、古くからのお店がたくさんある。



JR 東淀川駅近くの商店街がお気に入りだ。なかでも新鮮な魚が並ぶ鮮魚店には、何回も足を運んだ。お店のお婆さん、奥さんらと顔なじみになった。小分けした刺身、焼き魚を買う。とにかく安い。写真の立派な鯛は、正月明けに買った。正月前には手が出ない値段のようだが、激安にしてくれた。こんな美味しい鯛は何年ぶりだろう。ああ「めでたい、めでたい」



近所の自転車屋さんで、中古の自転車を買って、自宅では何十年ぶりで乗り回している。中古とはいえ、乗り心地はいい。淡路の商店街、吹田、豊中まで行って来た。自転車では行けないが、地下鉄「西長堀」駅に直結している大阪市立中央図書館に通っている。大阪での「図書館通い」については、またレポートしたいが、地下鉄について先に書いておこう。

残念でショックなのが、敬老パスは70歳からということだ。淀川区役所に行って、敬老パスを手に入れようとして知った。今年の誕生日まで待たねばならない。大阪では、毎回50円を払うそうだ。名古屋時代が懐かしくなる。それで久しぶりに定期券を購入した。ほぼ毎日、散歩を兼ねて新大阪まで往復歩き、「イコカ定期券」を使って、難波を経由して西長堀まで地下鉄で行く。今日も図書館にいこか。

(2018年1月8日)